

2022年8月18日

不動産流通実務検定“スコア”推進協議会 2022 を開催

不動産流通推進センターは、8月4日（木）に不動産流通実務検定“スコア”推進協議会 2022 を開催しました。

◆開催目的

平成28年の宅地建物取引業法の改正において、宅地建物取引業者を社員とする事業者団体は、従業者に対して体系的な研修を実施するよう努めることが定められました。我が国初の不動産流通実務能力の客観的・横断的な検定制度である“スコア”は、その基盤として広く活用されることを期待されています。

このような背景から、「スコア推進協議会」は、“スコア”の一層の普及及び充実に推進することを目的として、“スコア”の趣旨に賛同する大手不動産流通会社4社（※）が発起人となり、平成31年(2019年)に設立されました。現在の会員企業は26社であり、国土交通省及び各業界団体がオブザーバーとなっています。

◆日本不動産学会 業績賞受賞

“スコア”は、大手及び中小事業者が一丸となり業界全体のレベルアップに取り組んだ結果、過去9回の累計受検者数が約1万1千人を超えました。その先駆性、スコアeラーニングなど不動産流通事業者が従業者等の教育研修に利用しやすい仕組みを提供している点、また、コンプライアンスに関する出題比率を今後高めることで、業界における従業者の倫理意識向上に関する取り組みの支援拡充が期待できる点を高く評価いただき、公益社団法人 日本不動産学会の表彰制度である「2021年度（第28回）業績賞」において、「日本不動産学会長賞」を受賞しました。

※発起人4社

三井不動産リアルティ（株）・東急リバブル（株）・野村不動産ソリューションズ（株）・住友不動産販売（株）

◆スコア推進協議会 2022 の内容

新規会員の出席者紹介、事務局挨拶、国土交通省からのご挨拶の後、事務局より、協議会「運営要領」、当センター教育体系、第9回の実施報告、第1回から第9回までの実績報告と結果分析、第10回の実施概要、「スコアeラーニング」等について説明しました。

次に、会員各社に活用方法等について発表いただきました。

<会員の活用方法（一部）>

（導入目的）

- ・知識レベルの確認はもちろんのこと、トラブル回避の意識を全社員的に上げるということに重きをおいている。
- ・各社員に、自身の現在の知識レベルを知ってもらい、また、業界内で全国的にどれ位のところにいるかを知ってもらう機会として利用している。
- ・社員が足りていない部分を自覚し補填してもらうために利用している。
- ・全社員の受検を必須にして、人事考課の資格検定評価の一部として組み込んでいる。

（受検対象者）

- ・一定の資格を取得した30歳前後の社員の受検を必須としている。
- ・営業担当で、新しく管理職になった社員、前回の受検者の内、全国平均を下回った社員の受検を必須としている。また、およそ5年以上の営業経験、業務経験を積んだ社員には任意で受検してもらっている。
- ・チームリーダー及び主任クラスの社員の受検対象としている。
- ・全社員を受検対象に任意で受検してもらっている。

（目標点数）

- ・重要事項説明の最終チェックをするような責任のあるポジションにつく人には、「宅建マイスター」の受験資格にすることもできる600点以上の点数をとってほしいと伝えている。しかし、絶対600点とっていないとその役職につけないということまではしていない。一つの参考値としてみている。

◆スコア推進協議会 2022 の概要

【会議名】 不動産流通実務検定“スコア”推進協議会

【日 時】 令和4年8月4日（木）14：00～15：00

【場 所】 会場参加（不動産流通推進センター セミナールーム）

- ・発起人4社
- ・国土交通省
- ・事務局（不動産流通推進センター）

Zoom 参加

- ・発起人4社以外の会員企業（10社が出席）
- ・業界7団体

【議事次第】 1. 協議会出席者紹介

- ・新規会員及び初出席会員紹介

2. 挨拶

- ・東 潔／公益財団法人不動産流通推進センター 副理事長
- ・金子 佐和子

／国土交通省 不動産・建設経済局 不動産課 不動産政策企画官

3. 協議会 運営要領説明

4. 推進センター 教育体系

5. 不動産流通実務検定”スコア”実績報告と本年度実施要領

①第9回実績報告と結果分析

②第10回“スコア”及びスコアeラーニング実施概要

③日本不動産学会 業績賞受賞に伴うキャンペーン

6. 質疑応答

7. 各会員活用状況

◆会員（26社）

三井不動産リアルティ（株）／東急リバブル（株）／野村不動産ソリューションズ（株）／住友不動産販売（株）／（株）アービック建設／朝日土地建物（株）／（株）アトリウム／小田急不動産（株）／関電プロパティーズ（株）／京急不動産（株）／城南興業（株）／住友林業ホームサービス（株）／（株）大京穴吹不動産／大成有楽不動産販売（株）／タマキホーム（株）／東京建物不動産販売（株）／東電不動産（株）／日本住宅流通（株）（株）ピアライフ／（株）不動産流通システム／三菱地所リアルエステートサービス（株）／三菱地所ハウスネット（株）／（株）三好不動産／（株）ムゲンエステート／（株）りそな銀行／ロイヤルコーポレーション（株）（ロイヤルハウジンググループ）

不動産流通推進センターホームページ

<https://www.retpc.jp/>

<ニュースリリース問い合わせ先>

公益財団法人 不動産流通推進センター
事業推進室 TEL：03-5843-2075

◆オブザーバー（7 団体）

（一社）全国住宅産業協会／（公社）全国宅地建物取引業協会連合会／（公社）全日本不動産協会／（一社）不動産協会／（一社）不動産流通経営協会／（一社）中部不動産協会／関西不動産情報センター

（協議会会場の様子）



第 10 回「不動産流通実務検定 “スコア”」実施概要

- ・ 受付期間 2022 年 9 月 1 日（木）～11 月 10 日（木）
- ・ 検定実施日 2022 年 11 月 17 日（木）～11 月 24 日（木）
- ・ 受検方法 パソコンまたはタブレットを用い、150 分で 100 問をノンストップで解答
- ・ 出題 8 科目から出題（重説、契約、査定、賃貸、建築、税金、相続、その他）
- ・ 受検料 一般 5,000 円（税込）

【“スコア”に関連する学習ツール】

- ・ 「不動産流通実務が学べる！スコア e ラーニング」（2,000 円/税込）
- ・ 「“スコア”受検に役立つ 不動産流通実務必読テキスト 第三版」（2,800 円/税込）

不動産流通実務検定 “スコア”、“スコア”に関連する学習ツールの詳細は

下記の URL からご覧いただけます。

<https://www.retpc.jp/score-kentei/>

不動産流通推進センターホームページ

<https://www.retpc.jp/>

<ニュースリリース問い合わせ先>

公益財団法人 不動産流通推進センター
事業推進室 TEL：03-5843-2075